

第5回鹿野地域振興会議議事概要

日 時 平成27年10月28日(水)

13:30～16:00

場 所 鹿野町総合支所 会議室

出席者 井上秀隆委員、乾隆史委員、兼平恵委員、山下直司委員、筒井洋平委員、田中文子委員、佐々木千代子委員、土井美沙委員、伊井照幸委員、林輝幸委員、廣田敬祐委員、山本章委員 12名出席

事務局：徳岡支所長、竹間副支所長、乾産業建設課長、上野市民福祉課長、西浦地域振興課補佐、小林いんしゅう鹿野まちづくり協議会副理事長

傍聴者：なし

1 開会

2 田中会長あいさつ

①地域振興会議会長会について

8月5日開催された会長会で、「鹿野地域振興会議では今後どのように進めていくか」を中心に、委員が共通認識を持って前向きに議論していることなどを報告してきた。市長より中核市となることで現在の職員定数の見直しを行うこと、市庁舎建設経費については中核市となることによる面積増・資材費の値上がりなど当初の予定より多額となっているが、極力経費節減に努めることなどの説明があった。

②西部地域の地域振興会議の意見書についての意見交換会について

別紙の回答書のとおり西部地域に新たな工業団地を検討していきたいと考えているが、具体的な用途が決定されていない現時点での土地の取得は考えていないとの説明があった。私案だが、鹿野町として支所長や歴代の支所長経験者の方に集まっていただき、工業団地の候補地を検討できるような会議を開催してはどうかと思う。

③中学校の統合問題について

市長・教育長へ小・中一貫校（校舎分離型）の設置などを盛り込んだ要望書を提出した。今後は地域が学校により関わるが必要になってくると考えており、鹿野地域学校応援団を設立する準備会へ参画し、検討を進めている。

質疑

委員 企業誘致の際に、産業廃棄物業者も一緒に誘致されるのではないかと心配している。

委員 現時点でどのような企業が誘致できるのか確約できないので、当面は現在のままでいいのではないか。

3 議題

(1) 基幹公民館の位置づけについて

資料 1

〔事務局より資料 1 に基づき説明〕

委員 基幹公民館とは何か。

事務局 基幹公民館とは旧町村単位の中央公民館で、地域の各地区公民館の連絡調整や地域全体の事業を実施している。中央公民館は鳥取市に1つだけとなり、4月以降は基幹公民館・鹿野町中央公民館と言う名称はなくなる。

委員 基幹公民館の事業はどうなるのか。

事務局 基幹公民館事業は教育委員会分室へ引き継がれる。鷲峰登山、図書館事業など、教育委員会鹿野町分室の事業として行われる。鹿野町では名称がなくなるだけで実施する事業は今までと変わらない。

(2) いんしゅう鹿野まちづくり協議会の活動状況について

〔いんしゅう鹿野まちづくり協議会の小林副理事長より説明〕

委員 空き家対策のことは理解できるが、それ以前に現在住んでいる人が定住できるような策が必要ではないか。

委員 まちづくりとは、今住んでいる方が住んでいる町を魅力的にすることであり、自分たちで楽しんでやることだと思う。転出する方を止めることはできないけれど、また戻ってきてほしいし、戻ってこられるような町にしたい。

委員 鹿野に戻りたくても戻れない理由や事情がある。「まちづくり協議会」だけでなく、鹿野の魅力をみんなでもっとPRすべきだ。

委員 Uターンしたときに正規雇用になるような働く場の確保をしてほしい。

小林 空き家はあるが、利用できる空き家がない。貸し手と借り手のそれぞれの思いがあるので、うまくマッチングできると良いと考えている。

事務局 いんしゅう鹿野まちづくり協議会は全国的に情報提供を行い、視察を多く受けている。

(3) 町内視察の意見について

事務局 先々回の町内視察について、意見交換が途中だったので、もう少しご意見を伺いたい。

委員 鹿野城跡公園の展望台をきれいにしてほしい。

委員 また、鹿野城跡公園の六角堂の所の見晴らしもよくない。

委員 ボランティアグループ「城山まもりたい」が見晴らしを考えながら、小木を枝打ちしているが、大木は難しい。また、桜の木は日あたりのよいところを好み、日陰になると枯れるため、城跡公園でもずいぶん枯れてきている。

事務局 稲荷神社の所の杉が大きくなっている。昭和40年代から椎の木などが伸びていて、見晴らしの邪魔をしている。

委員 木が育つのは当たり前で、単に木を切ればいいというものではない。自然保護の観点から批判されることもある。また、椎の大木は簡単には切れない。

委員 譲伝寺の山へ上がる道に手すりを付けたようだ。

事務局 簡易なロープと杭で手すりを設置した。

委員 河内の花巻公園は地元の方で清掃していただいて、いつもきれいだ。

委員 鹿野城跡公園の池にボートを浮かべてはどうか。

委員 ボートを使うとなると維持管理費・安全面の確保（ライフジャケットの着用や見守り救助体制）などが必要だ。

委員 おもしろい発想ではあるが、活動の主体はだれか、どのように実行していくのか工夫が必要だ。

(4) 委員提案について

①地区内市民からの要望

委員 歴史文化研究会が総合支所の2階会議室を利用して展示をしたことがあるが、展示には人手がいるし、貴重品の管理の課題がある。

委員 展示したい方々が集まって、実行委員会形式でやってみてはどうか。

委員 行政に頼るのではなく、やりたい方がみんなで協力してやってみてはどうか。

事務局 総合支所にも美術品等があるので、ロビーなどを利用することを含め検討してみる。

②学校等のトイレの設置状況について

事務局 中学校、小学校とも和式・洋式がある。和式の方が多く、洋式はウォシュレット式ではない。

委員 洋式も和式もあった方がいい。和式に慣れておくことも必要だ。

事務局 総合支所に洋式トイレはあるが、障がい者用となっているので、一般の方は使いにくいかもしれない。表示の仕方を工夫したい。

委員 総合支所の洋式トイレは多目的トイレとなっていないし、ドアがカーテン式で施錠しにくい。

4 その他

①可燃ごみの収集日の変更について

委員 金曜日に可燃・プラ・ペットボトルが収集された場合の収集場所の確保がきちんとできているか。収集場所の狭い所は混雑するのではないか。

事務局 自治会の方に確認してみる。

②鳥取市創生総合戦略について

「鳥取市創生総合戦略」の冊子を配付し、今後意見を伺うことにする。

③ブロック会議について

委員 市からの説明時間が多く、委員同士の意見交換ができなかった。ブロック会議としての内容を検討してほしい。

委員 委員の主体性を尊重すべきだ。

委員 ブロック会議の参加人数を限定して、もっと意見交換ができる場とした方がいい。

5 閉会

次回の開催は11月19日（木）午後1時30分から鹿野町総合支所会議室で行う。